

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	外国人研修指導、援助事業の実施	事業開始年度	平成3年度	作成責任者		
担当部局庁	職業能力開発局	担当課室	海外協力課外国人研修推進室	外国人研修推進室長		
会計区分	一般会計	上位政策	2国間の国際協力を推進すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予算措置	関係する計画、通知等	政府開発援助アジア労働技術協力費等補助金等交付要綱			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	開発途上国への技能移転を目的とする外国人研修制度の適正かつ実効ある推進のため、必要な指導、支援を行う。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	技能実習制度による技能移転が適切に行われるよう、入国当初の外国人研修生・技能実習生に対する日本語教育の支援や、受入れ企業の生活指導員に対してのセミナー等の指導、支援を行う。					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 日本語作文コンクールの実施、優良作品の作成・配布(作成・配布部数36,500部:21年度) 日本語指導セミナーの開催(開催回数6回:21年度) 生活指導員セミナーの開催(開催回数9回:21年度) 受入れ企業(中小企業)への適切な日本語教育機関講師の派遣に対する補助(助成対象者5,512人分:21年度) 					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	37	37	32	22	0
	執行額	37	37	29		
	執行率	100.0%	100.0%	90.6%		
	総事業費(執行ベース)	74	74	57		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> 事業開始時に、事業実施要領を精査することにより、事業内容が適正であることを確認している。 事業終了時に提出される、事業の実施結果報告により支出内容及び事業の実施状況を精査し、適切な支出が行われていること及び事業が適正に運営されていることを確認している。 日本語作文コンクールで表彰されたものの内容を確認し、日本語の習熟度を確認している。 				
	見直しの余地	平成22年度予算において、事業実施体制の効率化により、対前年度比約30%の削減を行ったところである。平成22年7月から、技能実習生に対して、日本語教育等の初期講習が義務付けられることから、本年度限りで補助金を廃止することとしている。				
予算・監視の効率化	外国人研修指導、援助事業の実施に係る経費については、平成22年7月の入管法改正により、平成23年度から事業内容について抜本的な見直しを図る必要があり、同年度をもって廃止すべき					
補記						

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

厚生労働省
29百万円

開発途上国への技能移転を目的とする外国人研修制度の適正かつ実効ある推進のため、必要な指導、支援を行う。



【補助】

(財)国際研修
協力機構
29百万円

技能実習制度による技能移転が適切に行われるよう、入国当初の外国人研修生に対する日本語教育の支援や受入れ企業に対してのセミナー等の指導、支援を行う。

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
給料手当等	相談援助スタッフの配置	13			
諸謝金	日本語講師謝金	11			
印刷製本費	日本語教育資料等	2			
旅費	日本語講師旅費、セミナー開催に係る旅費	1			
その他	資料の送付、セミナー会場借料等	2			
計		29	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0